



2021年6月11日

各 位

会 社 名 株式会社ジェイエスエス
 代 表 者 名 代表取締役社長 藤木 孝夫
 (コード番号:6074)
 問い合わせ先 取締役管理本部長 濱治 雅弘
 TEL 06-6449-6121 (代表)

業績予想、配当予想及び中期経営計画のローリングに関するお知らせ

2021年5月14日公表の「2021年3月期 決算短信」において未定としておりました2022年3月期の業績予想及び配当予想につきまして、お知らせいたします。また、併せまして2020年8月11日付「業績予想の公表及び中期経営計画の策定に関するお知らせ」において、2021年3月期から2023年3月期までの3ヶ年の中期経営計画を公表いたしました。事業環境の変化や業績の状況を踏まえ、新たに2022年3月期から2024年3月期までの3ヶ年の中期経営計画を策定いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 業績予想について

2022年3月期通期業績予想数値 (2021年4月1日～2022年3月31日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前回発表予想 (A)	百万円 —	百万円 —	百万円 —	百万円 —	円 銭 —
今回修正予想 (B)	7,700	279	287	201	51.97
増 減 額 (B-A)	—	—	—	—	—
増 減 率 (%)	—	—	—	—	—
(参考) 前期実績 (2021年3月期)	6,494	81	90	△440	△113.93

・公表の理由

新型コロナウイルスの感染拡大が事業活動及び経営成績に与える影響により、業績予想の適正かつ合理的な算定が困難であることから「未定」としておりましたが、現時点で入手可能な情報に基づき算定し、公表することといたしました。2022年3月期の業績予想につきましては、売上高は前期に比べ増収を見込み、利益面も回復を見込んでおります。

なお、上記の業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により変動する可能性があります。

2. 配当予想について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
前回予想	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —
今回修正予想	—	5.00	—	6.00	11.00
当期実績	—	—	—	—	—
前期実績 (2021年3月期)	—	7.50	—	3.00	10.50

・公表の理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題のひとつと位置付けたうえで、財務体質の強化と積極的な事業展開に必要な内部留保の充実を勘案し、安定した配当政策を実施することを基本方針としております。2022年3月期の配当につきましては、上記方針と当期の業績予想を踏まえ、1株当たり年間11.00円（第2四半期末5.00円、期末6.00円）とする予定です。

3. 中期経営計画のローリングについて

◇見直し前

	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
	予想	計画	計画	計画
売上高（百万円）	6,605	8,260	9,086	—
経常利益（百万円）	△ 784	440	550	—
当期純利益（百万円）	△ 594	280	347	—
1株当たり当期純利益（円）	△ 153.10	72.10	89.35	—

■新中期経営計画

	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
	実績	予想	計画	計画
売上高（百万円）	6,494	7,700	8,470	9,100
経常利益（百万円）	90	287	375	437
当期純利益（百万円）	△ 440	201	236	276
1株当たり当期純利益（円）	△ 113.93	51.97	61.03	71.24

(1) ローリングの理由

上記記載の通り、2022年3月期の通期業績予想の発表をいたしました。これに伴い、2023年3月期に最終年度を迎える中期経営計画におきましても、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う緊急事態宣言の発令等、依然不確定要素は存在するものの、現時点で入手可能な情報に基づき算定し、見直すことといたしました。

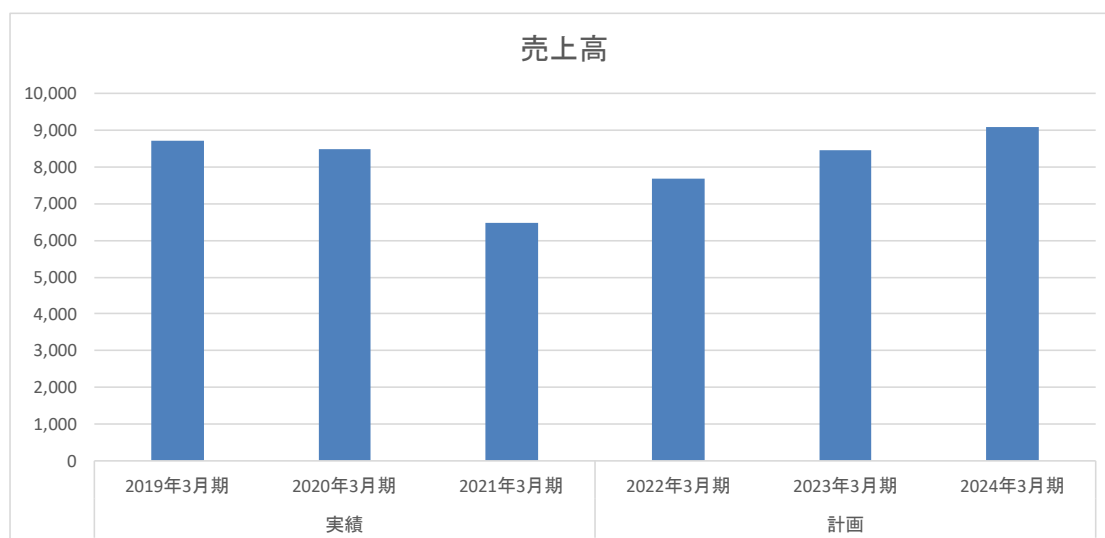
(2) 過去3年間の計画と実績の推移

項目	2019年3月期			2020年3月期			2021年3月期		
	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率
売上高（百万円）	8,898	8,729	98.10%	8,942	8,480	94.83%	6,605	6,494	98.32%
経常利益（百万円）	579	486	83.94%	501	390	77.84%	△ 784	90	-
当期純利益（百万円）	376	318	84.57%	319	185	57.99%	△ 594	△ 440	-
1株当たり当期純利益（円）	93.42	79.12	84.69%	79.49	47.86	60.21%	△ 153.10	△ 113.93	-

(3) 事業トレンド

今後3年間の中期経営計画を含む年次推移は以下の通りであります。

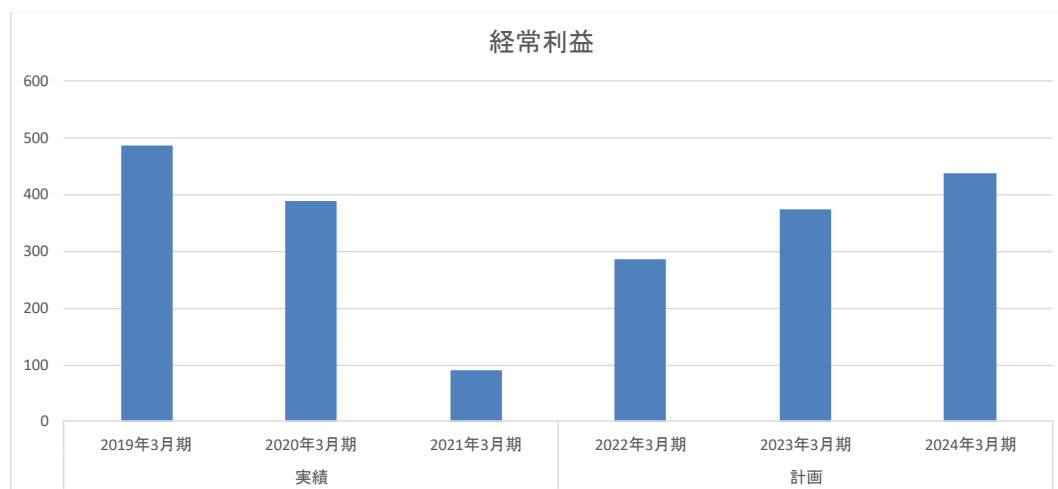
① 売上高の年次推移



(単位: 百万円)

	実績			計画		
	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
売上高	8,729	8,480	6,494	7,700	8,470	9,100

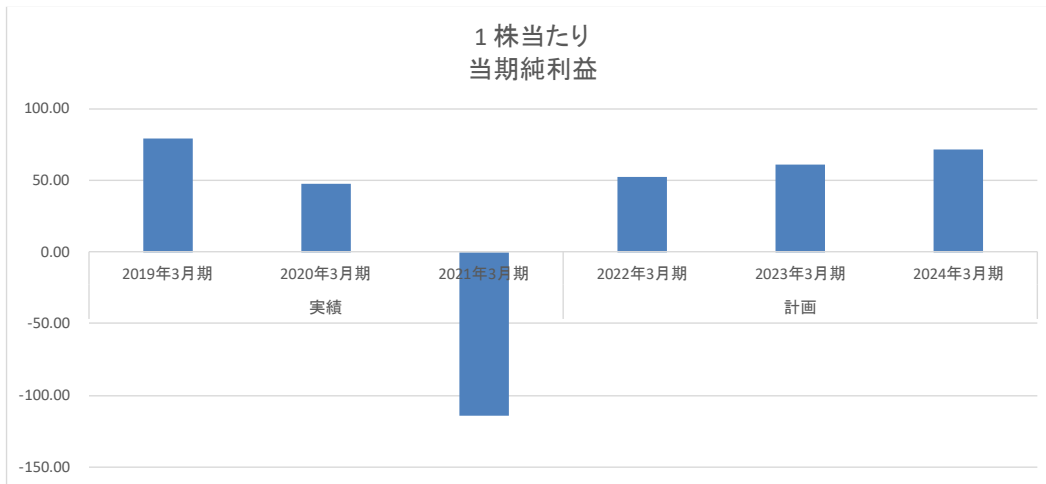
② 経常利益の年次推移



(単位: 百万円)

	実績			計画		
	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
経常利益	486	390	90	287	375	437

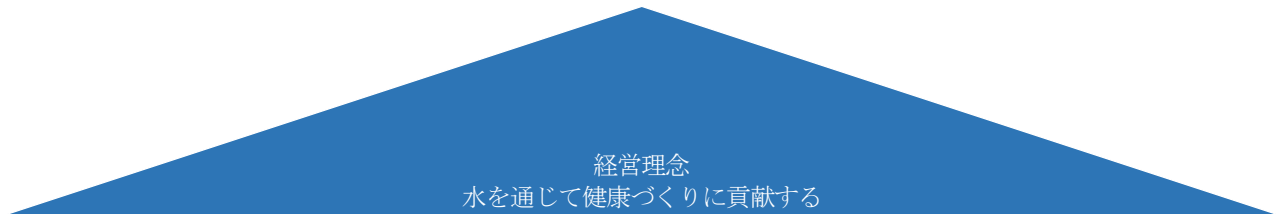
③ 一株当たり当期純利益の年次推移



(単位:百万円)

	実績			計画		
	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
1株当たり当期純利益	79.12	47.86	△113.93	51.97	61.03	71.24

4. 経営戦略及び重点施策



戦略	戦略	重点施策
事業戦略	新たな生活様式に適応しつつ、 会員、選手及び地域社会 とともに成長するJSS	<ul style="list-style-type: none"> ■年間2事業所程度の着実な出店 ■中高年層をターゲットとしたプログラム開発 ■水泳指導技術を活かした商品開発の強化 ■東京オリンピックへ向けての選手強化 ■業務受託及び業務提携等の事業パートナーとの連携
人事戦略	感染リスクから働く 社員を守りつつ 成長するJSS	<ul style="list-style-type: none"> ■教育・研修の充実 ■評価制度・昇格制度の改革 ■女性社員の職域拡大、活用の高度化
財務戦略	株主、投資家 とともに成長するJSS	<ul style="list-style-type: none"> ■コロナ以前の業績回復 ■東証市場区分見直しへの対応

本資料記載の将来の業績見通しに関する事項につきましては、本資料発表時点において入手可能な情報並びに、業績に与える不確実な要因に関する本資料発表時点の仮定を前提としております。実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以上